

6. 計画全体図

1. 経営理念

わたしたちは、日本の国際ハブポートとして、我が国産業の発展に寄与するとともに、活力ある地域社会の形成に貢献していきます。

2. 経営方針

I 国際コンテナ戦略港湾施策の推進
～日本一の総合港湾を目指した、競争力のあるコンテナふ頭群の整備・運営～

3. 取組の基本方針

◇ 我が国最高水準のコンテナターミナルの整備
船舶大型化等の国際海運動向や利用者ニーズに的確に対応するスピード感を持ったコンテナターミナルの再整備と新たなターミナルの整備

◇ コンテナターミナルの効率的な運営の推進
コンテナターミナルの再編・拡張等による利便性向上と先端技術の導入による生産性の向上

◇ 航路の誘致と集貨・創貨の促進
国内外からの貨物の集約等による基幹航路の拡大とターミナルの利便性向上に向け国際物流拠点の形成を促進

4. 取組内容

◆コンテナターミナルの再整備等における建築物やガントリークレーンなどの施設の整備・更新及び大水深岸壁を擁する高規格コンテナターミナルの整備促進
◇主な取組
(1) 本牧D-5ターミナルの再整備
(2) 本牧BCターミナルの再整備
(3) 南本牧MC-3ターミナル東側（拡張部）の整備
(4) 南本牧MC-3・4ターミナルの整備
(5) 新本牧コンテナターミナルの整備の促進

◆ふ頭の再編・整備とA I等の導入によるコンテナターミナルの効率性・利便性の向上
◇主な取組
(1) 南本牧ふ頭の一体運営の促進
(2) 本牧ふ頭の再編の推進
(3) 大黒ふ頭の機能転換の推進
(4) 施設の計画的かつ効率的な維持管理
(5) ターミナルへのカメラ導入推進、A I等の導入促進
(6) 関連施設との一体運営による東扇島ふ頭の利便性の向上

◆利用促進策と戦略的なポートセールスの展開
◇主な取組
(1) 国際基幹航路の維持・拡大に向けた取組
(2) 国際フィーダー網の維持・拡大に向けた取組
(3) 国際トランシップ貨物の取込みに向けた取組
(4) トップセールスを含む国内外ポートセールスの継続
(5) 東扇島地区立地事業者等と連携した集貨促進策の推進

◆国際物流拠点形成の促進
◇主な取組
(1) 南本牧ふ頭における国際物流拠点の形成を促進

II 事業活動を通じた社会の持続的な発展への貢献

◇ 災害等のリスクに強く、環境にやさしい港づくり
災害時等に社会活動の早期の復旧を支える強靱なインフラ整備及び地球環境にやさしい施策の推進

◇ 海洋都市横浜、川崎臨海部の発展に向けた貢献
みなとを通じた「まちの発展・活性化」への貢献

◆災害等のリスクに強い港づくり
◇主な取組
(1) 施設の耐震化・免震化の推進
(2) 高潮、悪天候等に備えた施設の災害対策の推進
(3) 施設の計画的かつ効率的な維持管理【再掲】
(4) 自然災害や感染症等の様々なリスクを想定したBCPの更新
(5) ターミナルへのカメラ導入推進【再掲】

◆環境にやさしい港づくり
◇主な取組
(1) LNGバンカリングの推進
(2) カーボンニュートラルポート形成の推進

◆臨海部の賑わいの創出及び国内外からの情報収集と国内外への情報発信
◇主な取組
(1) 客船の誘致による賑わいの創出
(2) 海外団体等との交流を通じた港湾関連情勢の情報収集
(3) 国内外に向けた横浜港・川崎港の取組等の発信

III 経営基盤の安定と発展的な事業運営

◇ 財務基盤の強化
災害時や経済変動による危機においても、安定的にターミナルの管理運営を遂行できるよう、自己資本を充実

◇ 新たな事業展開の模索
付加価値の高い港湾の実現に資する事業の構想・検討

◇ 組織力の強化及びグローバルな人材育成
国際コンテナ戦略港湾施策を着実に推進する組織力の強化及び海外団体等との交流によるグローバルな組織風土の醸成と人材育成

◆財務基盤の構築・充実
◇主な取組
(1) 内部留保の積み上げによる自己資本の充実
(2) 適切な経営判断の為の中長期的な財務シミュレーションの実施

◆新規事業の構想・検討
◇主な取組
(1) 経営状況を踏まえた新たな事業の構想・検討

◆組織体制の強化及び海外との積極的な交流を通じた人材育成
◇主な取組
(1) 関係団体との人事交流を含めた組織体制の強化とコンプライアンスの徹底
(2) デジタル技術を活用した「働き方の新しいスタイル」の実現
(3) 国際的な情報の収集や発信を推進するための人材育成